

⑦ 快適な暮らし

入居者は、住宅又は共同施設の使用にあたっては、必要な注意を払い正常な状態で維持する義務があります。入居者の故意、又は過失、その他適正な保管義務を怠ったことにより生じた滅失又はき損について、原状回復に要する費用は、入居者の負担となりますので、大切に使用してください。

○玄関

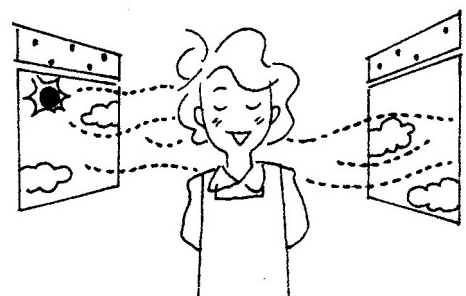
玄関のカギは2本お渡しします。このカギは入居期間中お貸しするものです。紛失された場合は、入居者ご自身の負担にて、専門業者に対応を依頼して頂くようになります。また退去時に紛失が判明した場合、防犯上鍵の交換が必要となりますので、補修費用に加算させて頂く場合があります。なお、入居期間中に鍵の変更を行った場合、緊急用の鍵を指定管理者に1本届出してください。

○居室

コンクリート住宅は、気密性が高いため、湿気がこもりやすいです。この湿気が冷たい壁や窓ガラスなどで結露し、カビなどの発生する原因となりますので、以下の事項に心掛けてください。

- ① できるだけ窓を開け、押入れのフスマも時々あけるなどし、室内の換気をよくするよう心掛けてください。
- ② 水蒸気発生の原因となるガスストーブや石油ストーブの過剰な使用は控えてください。
- ③ 家具と壁との間にすきまをつくり、風通しをよくしてください。
- ④ 壁が濡れてきた場合は、乾いたタオル等でふいてください。そのままにしておくと汚れやカビ発生の原因となります。
- ⑤ カビが発生したら、その部分の風通しをよくするようにして、乾燥させて掃除をしてください。

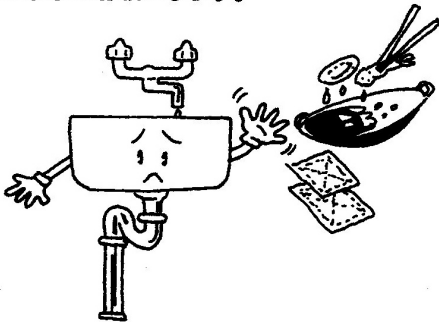
- 各部屋の壁紙にセロテープ・シール・ワッペン等を貼り付けないでください。特にプリント合板については、はがすときにプリント面が一緒にはがてしまいますので、必ず守ってください。修復は入居者の負担となります。



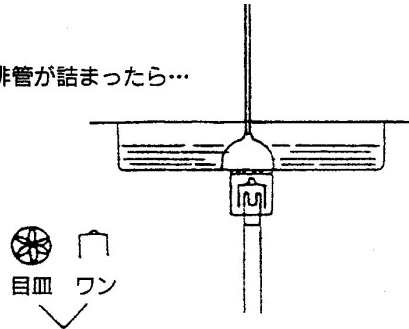
○台所

- 排水口に、米つぶ・茶がらなどの固形物などが、流れ落ちないように注意しましょう。また、こまめに流し台に取り付けてある目皿を引き上げて掃除をしてください。
- 目皿のゴミは、こまめに取り除いてください。また、目皿を外したまま使用すると、排水管の詰まりの原因になります。
- 台所は特に蒸気や煙がこもりやすいので、換気扇を使用したり、窓の開閉によって換気を十分するようにしてください。換気が十分でないと、結露の原因になります。
- 換気扇は油分が付着しますので、こまめに掃除をしてください。

台所の流しに、油や布切れなどを流さないようにお願いします。



排水管が詰まったら…

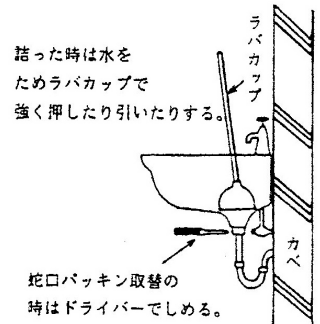


取り出しラバカップで押し引きしたりする。

○洗面所・浴室

- 浴室の水蒸気は、カビの原因となりますので十分に換気してください。使用后、浴槽のフタを閉めて、窓をしばらく開けておくことでよいでしょう。(ユニットバスは換気扇が付いていますのでこれをご利用ください。)
- 浴室の照明は、防水型の器具が設置されています。カバーがないと湿気で漏電するおそれもあり、また濡れた手で触ると感電のおそれもありますので、カバーは外したままにしないようにしてください。
- 洗濯水は、ベランダに流さず必ず浴室に流してください。なお、洗濯機パンを設置している住宅は、洗濯機の排水ホースを排水口に確実に差し込んでください。
- 自己責任による水漏れで階下の住戸で被害が発生した場合、水漏れをおこした人の負担で住宅の修繕をしていただきます。

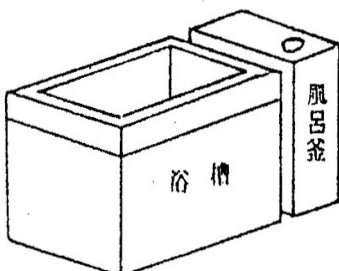
排水管が詰まったら…



詰った時は水をためラバカップで強く押し引きしたりする。

蛇口パッキン取替の時はドライバーでしめる。

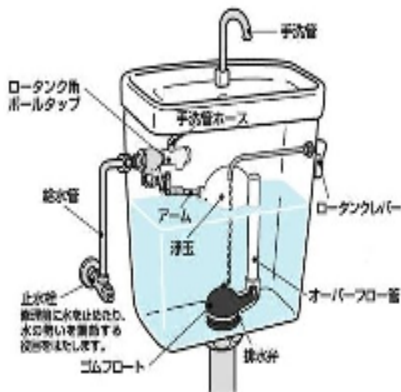
風 呂



- 昭和53年以前建設の市営住宅には風呂を備えつけるスペースを確保してある団地もありますが、浴槽、風呂釜はついていません。入居者自身で規格にあったものを用意してください。
- 既に備え付けてある場合は前の入居者の所有物ですので、買い取るか処分するかを前の入居者と交渉してください。

トイレ

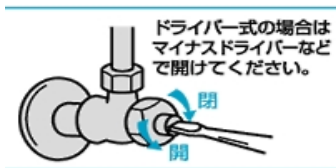
水洗トイレには、トイレットペーパー以外の紙や綿、ボロ布は絶対に流さないようにしてください。不注意による管のつまり等は、**入居者の負担**になりますのでご注意ください。また、タンク内にペットボトルや芳香剤を入れるとタンクの故障の原因となりますので、タンク内に物を入れないようにしてください。



●ロータンク方式

ロータンク方式は、タンクに水を貯めておき、レバーを操作して放水します。ボールタップにゴミがつかえると水が止まらなくなりますので、この場合は、止水栓のネジをドライバーを使って「右」（時計まわりの方向）に回し、水を止め、フタを開けて、ゴミを除去してください。

●フラッシュバルブ方式



フラッシュバルブ方式は約 10 秒間水が出て洗浄されます。水が止まらなくなった場合は、止水栓のネジをドライバーを使って「右」（時計まわりの方向）に静かに回し、まず、水を止めてから指定管理者へご連絡ください。

※トイレの床は防水がしてありませんので、水を流すと階下に漏れることがあります。掃除は必ず「ふきとる」ように気をつけましょう。

○バルコニー（ベランダ）

- 火災等非常の際の避難通路として、重要な役割を果たすこととなりますので、平素から重量物を置かないようにしましょう。また、子どもが踏み台にして事故を起こす原因となるので、特に注意しましょう。
- 万一火災等で玄関方向に避難出来ない場合は、隣家との隔壁を割って、隣家へ避難できるように隣家の方ともあらかじめよく話し合っておきましょう。
- 物置など増築類似行為はできません。

○水道

水道の元栓の位置を確認しておきましょう。

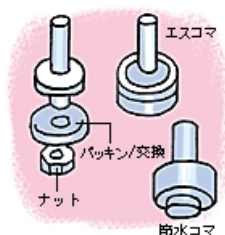
上階から水漏れがあり、上階が留守のときなど緊急の場合は、上階の元栓を締めてください。

●水道の故障

いちばん多いのは、蛇口の水もれです。これはコマやパッキンを取替えるとすぐになおります。パッキンの取替は自己負担ですので、なるべく家庭でなおしてください。(ホームセンターで購入できますが、色んな種類がありますので取り外した物を、お店に持っていかれると良いでしょう。)

☆パッキンの取替方法☆

- ①まず、止水栓（屋外・又はパイプシャフト内）を右（時計回り）に回して水を止めます。
- ②スパナ、ペンチなどで蛇口の上部を左（反時計回り）に回してゆるめます。
- ③蛇口の頭部を回しながら取り外します。
- ④ドライバーやプライヤーなどで、ビスまたはナットをはずします。コマの下にパッキンがついていますので、これを新しいものと取替えます。
- ⑤蛇口の頭部をはめこみ、2～3回まわしてからハンドルをしっかりと閉めて、スパナで完全に閉めます。



●断水

断水は、停電や工事等により起こりますが、断水したときに、水道の栓を開けたままにしておくと、留守中などに水が出て部屋が水浸しになったり、階下に水がもれて近隣の方に迷惑がかかることがよくありますので、断水の際の外出・就寝などの時、必ず閉栓したか点検してください。

●水道の凍結

冷え込みが厳しい夜などは、水道管が凍ったり、破裂したりしますので、これを防止するため、夜おやすみ前に蛇口からわりばし程度の流れの水を出し放しにしておやすみください。(浴槽に溜めておけばムダになりません。)



〇ガス

ガスが完全に燃焼するには、都市ガスではガス量の5～6倍、プロパンガスでは約24倍の空気が必要です。空気が不足すると一酸化炭素が発生し、ガス中毒の原因になりますので、換気をよくし、空気口の調整をすることが大切です。完全燃焼すると臭気もなくなります。

※事故防止の注意事項※

- ① 都市ガスとプロパンガスでは使用器具が違いますので、取付のときはガス専門会社に取り付けさせると安心です。
- ② ゴム管は十分差し込んで、両端を安全バンドで止めましょう。
- ③ 差し込み口のゆるくなったゴム管は切りつめ、古いゴム管は新しいものに取り替えてください。ビニール管は危険です。
- ④ 小さな部屋は、換気に十分注意してください。
- ⑤ コンロ等は、時々手入れしてガスが出る穴をよく掃除しましょう。
- ⑥ 使用後は、器具栓・元栓の順に確実に閉めましょう。特におやすみ前には元栓の確認をしてください。
- ⑦ ガス風呂の取扱
使用方法は次のことに注意してください。
 - 点火前には必ず適量の水が入っているか確認し、空だきをしないよう注意してください。
 - 点火中は換気に気を付け、酸素不足によるガス中毒等起こさないよう十分注意してください。

ガス漏れ警報器

ガス漏れ事故防止のため「ガス漏れ警報器」を、プロパンガス使用の共同住宅（3戸以上）に取り付けています。取扱説明書をよく読んで、事故のないようにしましょう。

〇電気

※事故防止の注意事項※

- ① 電気器具の使用電力量を確かめて使用してください。
 - ② コンセント等からタコ足配線をしないでください。
 - ③ 安全器のヒューズに針金等を使用しないでください。
 - ④ ヒーター・アイロン等のつけっ放しは火事のもとです。
- その他、わからないことは指定管理者または中国電力㈱へお問い合わせください。